

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月 31日

事業所名 キッズコートとみぐすく

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		1	一軒家としての利点を生かし、子どもがのびのびと活動できるよう配慮している。	
	2	職員の配置数は適切である	2		4	ICTを取り入れ業務負担の軽減を行っている。	コロナ環境のため出勤が制限されるなど影響が出ている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1		5		一軒家を活用する上でリスク排除するところを行い、排除しすぎないことも頭に置きながら環境作りを模索している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6			コロナ環境の中で職員の負担になりすぎないように業務の効率化に取り組んでいる。	より個別支援計画に基づいた振り返りの精度を上げられるよう努めていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			6		検討中。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			ICTを取り入れ研修の機会を動画視聴で行えるようにしている。	来年度から講師を呼び事業所独自の研修の機会を持てるよう調整中。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している			6		今年よりリタリコのアセスメントツールを導入する。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			子どもたちの要望を聞き活動に取り入れている。	職員一人一人がその日の活動に意味を持たせることができよう支援力アップに努めていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6				
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			ICTを取り入れ業務負担の軽減を行っている。	その日の活動・支援の方向性や行動の優先順位を確認し支援に当たれるようチームワークアップに努める。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6				気になることがあった場合はできるだけ早く共有できるように一人一人が意識し行動する。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			ICTを取り入れ業務負担の軽減を行っている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	6				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	6				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	1		5		該当の児童の受け入れなし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	6			連携機関とも情 報共有をするよう 心掛けている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している			6		該当の児童なし。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	6				相談事業所・学校等との連携での支援が主 となっている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある			6		コロナ環境により行っていない。今後も未定 である。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	1		5		コロナ環境により行っていない。今後も未定 である。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	6				
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	2		4	申し送りの際の情 報共有やアドバイ ス等のやりとりが 主になっている。	よりよいアドバイスやペアレントトレーニ ング等の家族支援ができるよう専門性や支 援力アップに努める。	
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	6				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	6				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	1		5		コロナ環境により行っていない。今後も未定 である。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護 者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	6			契約書に苦情につい ての窓口を明記し、保 護者の方よりご意見が あった場合は迅速に対 応するよう心掛けてい る。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	6			ICTを取り入れ保護者が 携帯にて子どもの活動 がすぐに確認できるよ う環境を整えている。	
	35	個人情報に十分注意している	6				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	6				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に開かれた事業運営を図っている	1		5		コロナ環境により行っていない。今後も未定 である。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6			マニュアル等がまとめられたファイルを保護者向けに作成しお渡ししている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6				